

平成十九年度 冬季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「冬」

期間 平成十九年十一月一日～平成二十年一月末

投句数 一、九二二句

特選三句

天

風花や木立の奥の宮太鼓

東京都世田谷区 坂野民子

地

破魔矢受く卑弥呼のごとき巫女なりき

神奈川県鎌倉市 土山忠滋

人

子の声を先に獅子舞来たりけり

神奈川県横須賀市 山口義一

入選句

一般の部

山眠る百八やぐら懐に

神奈川県鎌倉市

木村妙子

冬の陽の海に沈むや瑞泉寺

神奈川県横浜市青葉区

山下省三

寒稽古朝のしじまを突く気合

神奈川県鎌倉市

本阿弥光敬

除夜の鐘遠くに船の汽笛鳴る

神奈川県横浜市栄区

葭谷健一

逗子葉山海のはるかに富士小春

神奈川県逗子市

佐藤信子

神苑の水に影置く冬牡丹

神奈川県鎌倉市

萩野英利

鎌倉は梅も椿も仏かな

東京都新宿区

貞住昌彦

初富士や鎌倉の風やわらかし

神奈川県横浜市金沢区

大井実

奥津城の虚子に供ふや冬もみじ

神奈川県鎌倉市

前田純子

初詣登りきったる百二段

神奈川県鎌倉市

遠藤金子

大仏の御手に雀ら冬日和

神奈川県平塚市

小野寺信雄

冬紅葉やぐらも歴史語りをり

福岡県浮羽郡

吉村和子

鎌倉や小春日和に誘われて

神奈川県川崎市

荒川佳紀

凧の海まで抜ける段葛

東京都多摩市

中山正喜

海を抱き山に抱かれる古都師走

東京都日野市

橋本和子

着ぶくれて鎌倉駅に降り立ちぬ

大阪府豊中市

安藤知明

道場に咳を鎮めて弓絞る

東京都町田市

竹内弘

着ぶくれて立子句碑掃く寺男

神奈川県横浜市旭区

柳沢栄蔵

冬もみぢ塔頭なべて座禅中

埼玉県狭山市

古谷彰宏

暮れなづむ寒さひそみし源氏山

福岡県小郡市

蒲池スマエ

(順不同)

入選句

子供の部

古都で聞く春待ちわびる鳶の声

東京都新宿区

木村柚菜

山道を歩けば紅葉散って行く

埼玉県川越市

石嶋 貴

はつもうでれきしゆたかなかまくらへ

神奈川県川崎市幸区

玉川直樹

ふと見れば頼朝の墓にちるもみじ

埼玉県鴻巣市

半田奈々

にこにこと幸せそうな七五三

千葉県市川市

野瀬日菜子

寒い冬日なたをさがし歩き出す

埼玉県さいたま市

土山 茜

こがらしの中にたたずむ大仏さん

埼玉県さいたま市

藤田恵梨子

寒牡丹あざやかに咲く雪の中

埼玉県桶川市

藤田真央

冬紅葉長谷に輝く朝日かな

神奈川県横浜市都筑区

萩野仁哉

鎌倉の心に響く冬景色

東京都杉並区

松本芽依

(順不同)